

みなさんも!

「緑のカーテン&カーペット」を育てて、大阪の暑い夏を涼しく過ごしませんか?



緑のカーテンとは

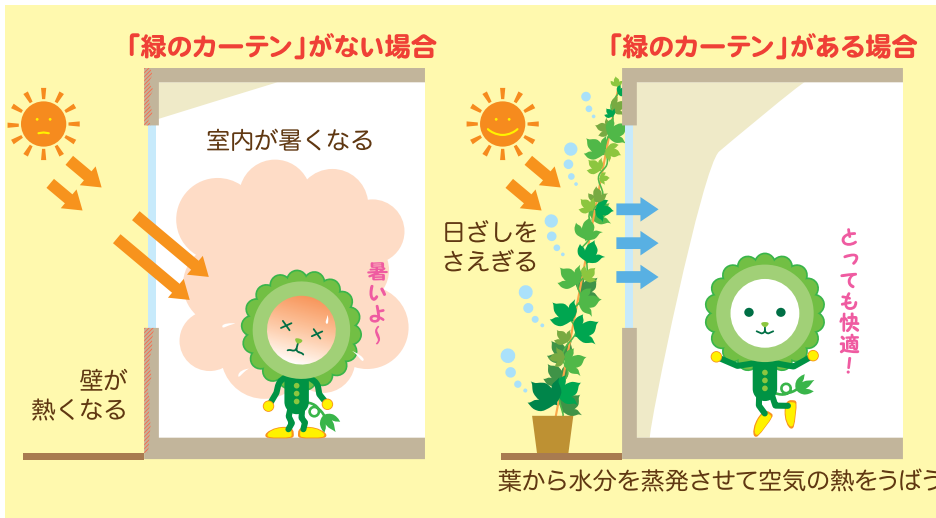
緑のカーテンとは、建物の窓際や壁を、ゴーヤやアサガオなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の日差しをさえぎるものです。

どんな効果があるの?

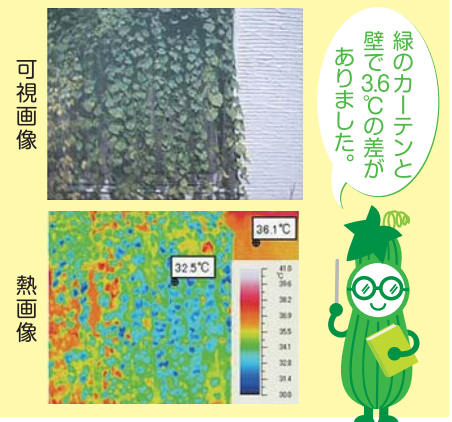
日差しによる室温の上昇を抑えるとともに、植物の葉から水分が蒸発するときに周囲の熱をうばうので、気温を下げるができます。このことで、エアコンの設定温度を高め設定できたり、エアコンの使用時間を短くできるなど省エネルギー効果が期待できます。また、身近に緑があるとわたしたちも安らぎますよね。



夏は西日で暑くなるので、西側の窓を「緑のカーテン」でおおうととっても涼しくなるよ。



熱画像で見る緑のカーテンの温度上昇抑制効果



「緑のカーテン」の作り方・育て方<ゴーヤの場合>

- 1** 2階のバルコニーの手すりなどに結び付けます。固定する場所がないときは、支柱を立てます。
- 2 ネット** 10cm角目程度の園芸用の丈夫なものを用意しましょう。
- 3** 本葉が5~7枚になったら、親つるの先を2~3cm切ります。
- 4** 子つる、孫つるを横に伸ばしてネットにビニタイなどで軽く固定します。
- 5 肥料** 1ヶ月後から2週間に1回くらい、根元を避けて肥料をあげると良く育ちます。ただし、与えすぎには注意しましょう。
- 6 土** 野菜用の培養土が簡単でお勧めです。
- 7 種・苗** 種や苗はホームセンターや園芸店で購入することができます。
- 8 水やり** 苗が小さいうちは朝夕のどちらかに1回。大きくなってきたら朝夕2回あげましょう。
- 9 プランター** 根がしっかり張るような野菜用の深めのものを使用しましょう。
- 10 重し** ネットが動かないように重しをしましょう。

でス栽すケ培
ジュール

